

第 32 回「中小企業優秀新技術・新製品賞」一般部門応募書類

※本応募書類を印刷したものとCDなどの媒体に保存したWORD ファイルを一緒に4 ページ末尾記載の住所へご送付ください。

ID	t-999 ※登録完了メールでお知らせした「ID」
応募企業名	株式会社いろはに工業
作品名(30 字以内)	エコリサイクルの鉛フリーめっきシステム ※®登録商標マークは入れないで下さい

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25

1～25 行まで事務局が使用します。ご記入はしないでください。

技 術 ・ 製 品 の 説 明	<p><u>製品名・品番</u> ※新製品の場合は、品番まで記載してください。</p> <p>「Eco Plating」</p> <p><u>技術・製品の概要（全体像を簡潔に）</u></p> <p>※機能・特徴・用途をコンパクトに説明 HP などがある場合、応募作品の参考資料を極力掲載し、掲載サイトのアドレスを応募書類に記載してください。</p> <p>鉛を使用しない、環境に優しい、リサイクル可能な世界初のめっきシステムを開発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛を使用しない。 ・リサイクル可能。 <p>(例) 【製品情報】掲載サイトアドレス : https://www.irohani.co.jp/products/</p>
	<p><u>原理・製法（ポイントのみ）</u></p>

※応募資料の情報取り扱いについて

提出いただいた資料は審査にのみ使用し、公知の情報を除き、応募者の了解なく第三者に開示することはありません。

※すべての項目について、枠内に収まるよう記入して下さい。（内容が不明な簡略記入の項目がある場合は審査対象外となることがあります）

※応募書類（4ページ）のみで審査しますので必要なデータを簡潔に記入願います。※書式の大幅な変更や、頁数の変更はしないでください。

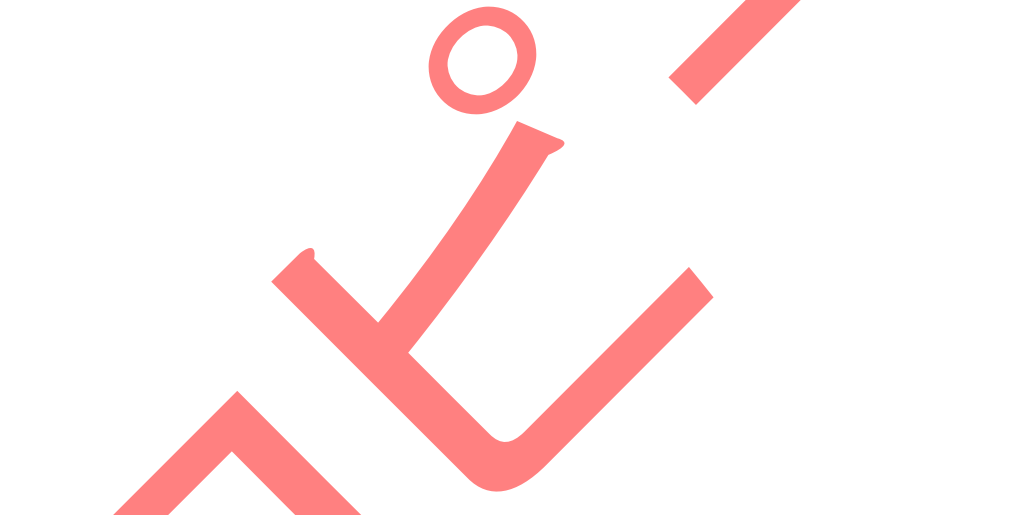
技 術 ・ 製 品 の 優 位 性	<p><u>機能、性能、品質の説明（水準が高いと思われる点や、従来のものと比べた優位性等）</u> ※独創性・優秀性を具体的に性能等のデータを提示して、説明してください。</p>
	<p><u>競合製品との比較（①競合製品名・企業名、②競合製品と応募製品の性能・価格等の比較）</u> ①製品名×× ○○会社 ②性能・価格の比較</p>
	<p><u>環境への配慮の説明（具体的にデータを提示して説明してください）</u> 消費電力も少なく、低コスト。鉛は一切使用せず、排出物質にも有害なものはありません。</p>
	<p><u>安全性、信頼性、PL法への対処の説明</u> 安全機構を備えています。動作異常時には電気系を含めて停止機構を組み込んでいます。</p>
主 な 用 途 お よ び 実 績	<p><u>用途・市場性（市場規模、市場占有率、業界環境等）および経済性（投資の採算性や回収期間等）の説明※極力詳細に記入してください。</u></p>
	<p><u>主な実績（具体的な改良・改善点と時期、納入先、納入時期、納入台数等（サンプル納入は、「サンプル」と表示して下さい））</u> ※販売開始直後等で、今後の販売見込みを記載する場合は、その根拠も明記してください。※販売開始時期の根拠（ニュースリリース、発表会等）を記載してください。</p> <p>2019年2月○○展示会に出展公開し、販売開始。2019年6月 A社 ○○台 納入。</p> <p><u>公的認定や他機関での受賞等（新連携等）（時期も記入）</u> △△主催 ○○賞 受賞（2019年8月）</p>

開 発 関 係	<u>開発意図（目的、動機、狙い）</u>
	<u>開発の経緯（大幅な改良・改善は必ず記載）</u>
	<u>開発目標に対する達成度（自己評価）</u>
	① <u>開発に当たり苦労した点、実現が困難であった点</u> ② <u>どのような工夫で克服したか</u>

機能、反応などを達成するための動作・反応過程の説明

（１）構造図、反応図、ブロック図など（主要部位の名称は必ず記入）

④



（２）動作・反応過程（上記図にもとづき、動作・反応の過程を順を追って箇条書きで説明）

①

②

③

※個人情報の利用目的

応募者にかかる個人情報は、りそな中小企業振興財団が行う事業（新技術・新製品表彰事業、技術移転事業、人材育成事業および調査・研究・情報提供事業）のご案内およびその改善を目的に利用させていただく場合があります。

日刊工業新聞社では、各種商品・サービスのご案内およびその改善を目的に個人情報を利用させていただく場合があります。

共同開発（提携先とその具体的な役割及び寄与度（%）） ※審査上不利とはなりませんので正確に記入してください（特に公的機関）。事前に、共同開発者・権利関係者から承諾を得てください。 **提携先寄与度** ○ %
→提携先寄与度○%（+自社の役割△%=100%）

特許の名称および番号（健康・医療関連は厚生労働大臣の承認番号） ※申請中の場合その旨明記ください。※ブラックボックス方針の場合は、その旨記入ください。審査に必要な基本的な原理や実証データが記載されていないと、評価できない場合があります。

特許権者（出願人）および発明者（開発担当者）、各々との当社の権利関係 ※応募者と異なる場合はその権利関係も明記してください。
当社 開発部長 ○○ ○○

関係・利用する他社特許（権利者、No.等）
(××社 ○○特許)

開発費(人件費含む) 万円 ※金額単位は、万円ですので、ご注意ください。

開発参加人員 人 開発期間 年 月

写真とその説明（技術・製品の特徴がわかる写真を重ねないように1~2枚貼付）

(写真画像を添付ください)

添付資料 産学官連携の場合はその**契約書・覚書等の写し**、環境貢献に該当ある場合は**データ・資料**を添付して下さい。 ※応募書類および添付資料は返却いたしません。

送付先 公益財団法人りそな中小企業振興財団 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-2-1 目黒センタービル 4F
または、
日刊工業新聞社 日刊工業産業研究所 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1